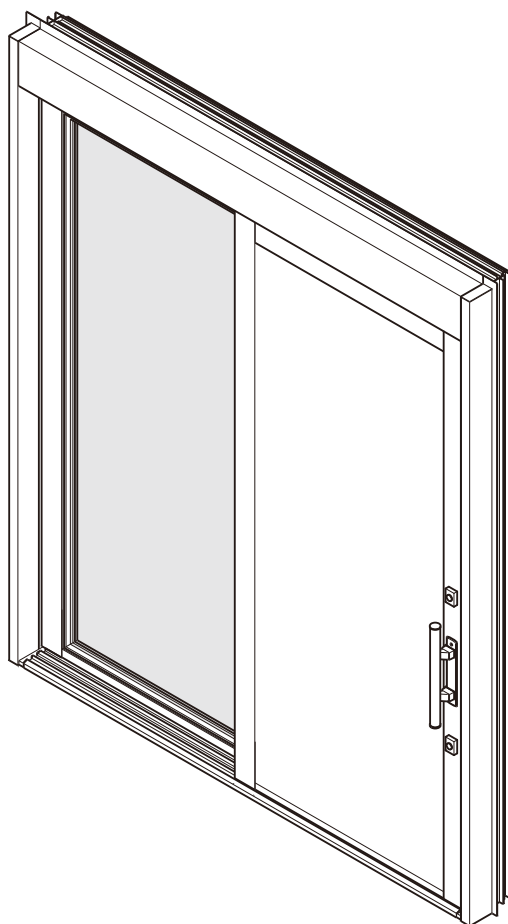


リニアスライドシステム

取扱い説明書



ご使用にあたって

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくための取扱い方法やお手入れ方法などの重要な内容を記載しております。
ご留意いただくとともに、大切に保管してください。

目次

■重要なお知らせ	1
■安全について	1
■特に注意していただきたいこと	2～5
■安全機能について	6
■リニアスライドシステムについて	7～12
1. リニアスライドシステムとは？	7
2. 各部の名称（室外側）	8
3. 各部の名称（室内側）	9
4. リニアスライドシステムの構成と動作概要	10
5. センサーのはたらきについて	11・12
■使用方法について	13・14
■基本操作方法	15～25
1. 電源スイッチを入れるとき	15
2. 電源スイッチを切るとき	16
3. 帰宅時の操作	17～19
【タッチ／ノータッチ切替キー＋リニアスライドシステム】	}
【簡易タッチキー＋リニアスライドシステム】	
■タッチキーモードで操作する場合	17
【CAZASキー＋リニアスライドシステム】	18
■CAZASキーで操作する場合	18
【タッチ／ノータッチ切替キー＋リニアスライドシステム】	}
【簡易タッチキー＋リニアスライドシステム】	
【CAZASキー＋リニアスライドシステム】	
■手動で操作する場合	19
【手動キー＋リニアスライドシステム】	19
■操作方法	19
4. 外出時の操作	20～22
【タッチ／ノータッチ切替キー＋リニアスライドシステム】	}
【簡易タッチキー＋リニアスライドシステム】	
■タッチキーモードで操作する場合	20
【CAZASキー＋リニアスライドシステム】	21
■CAZASキーで操作する場合	21
【タッチ／ノータッチ切替キー＋リニアスライドシステム】	}
【簡易タッチキー＋リニアスライドシステム】	
【CAZASキー＋リニアスライドシステム】	
■手動で操作する場合	22
【手動キー＋リニアスライドシステム】	22
■操作方法	22

5. 来客時の操作	23・24
【タッチ／ノータッチ切替キー＋リニアスライドシステム】	} 23
【簡易タッチキー＋リニアスライドシステム】	
■タッチキーモードで操作する場合	23
【CAZASキー＋リニアスライドシステム】	24
■CAZASキーでの操作	24
【タッチ／ノータッチ切替キー＋リニアスライドシステム】	} 24
【簡易タッチキー＋リニアスライドシステム】	
■手動で操作する場合	24
【手動キー＋リニアスライドシステム】	24
■操作方法	24
6. 就寝時の操作	25
■停電時の使用方法	26
■点検について	26～28
■お手入れについて	29
■こまったときは	30～33
■仕様	34
■アフターメンテナンスについて	35
■商品保証について	36

重要なお知らせ

ご使用前に

安全のために、必ずお守りください。

「リニアスライドシステム」のご使用及びお手入れは、この取扱い説明書にそって行ってください。

もしこの取扱い説明書に従わず、乱用及び誤用によるケガ及び損害が発生した場合は、当社・トヨタ車体株式会社及びその販売会社に責任はないものいたします。

- 1.この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。
したがって、「リニアスライドシステム」のご使用及びお手入れの際は、取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
- 2.この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。
- 3.商品のお問合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。

問合わせ事項	連絡先	TEL
商品全般	お客さま相談センター	 0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL修理受付センター	 0120-413-433

安全について

警告用語の種類と意味

この取扱い説明書では、危険度（又は事故の大きさ）によって、次の3段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

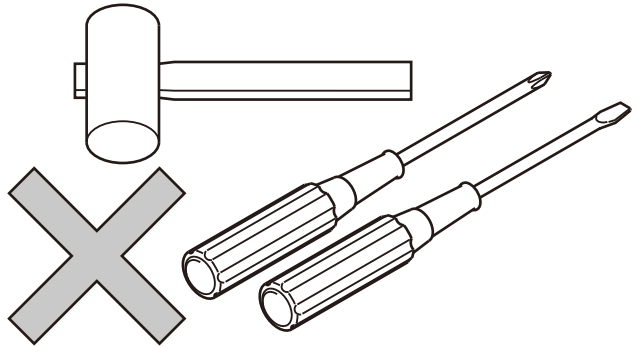
警告用語	意 味
 警 告	取扱いを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。
 注 意	取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
お 願 い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示にしたがわないと機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

特にご注意いただきたいこと

※安全のため、必ずお守りください。

！ 警 告

- カバーの取外し、改造・分解はしないでください。感電・火災・故障の原因となります。



- コントローラ及びレール内部をぬれた雑巾や洗剤で拭いたり、オイルスプレーなどを吹きかけたりしないでください。感電・火災・故障の原因となります。電子部品・樹脂部品の劣化にもつながります。



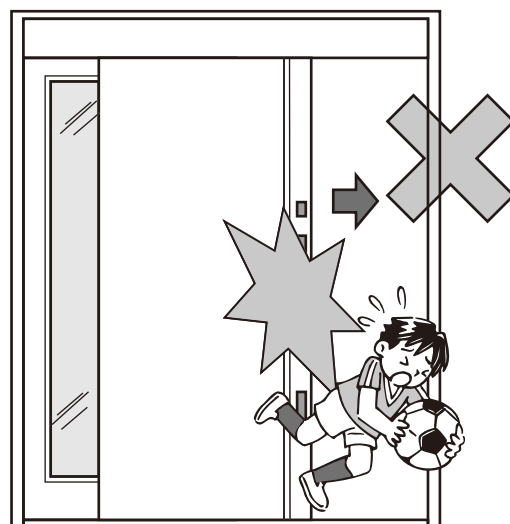
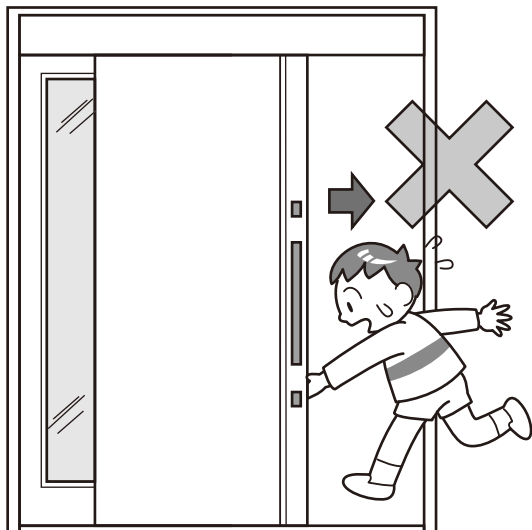
！ 注 意

- 必ず下記の注意事項をお守りください。守らない場合は開閉する引戸に衝突したり、はさまれたりしてケガをするおそれがあります。
- ・開閉の際には、周囲に人・物がないことを確かめてから開閉してください。
- ・引戸付近に立ち止まらないでください。
- ・開閉する引戸に手を触れたり、開閉位置に顔や手足を出さないでください。

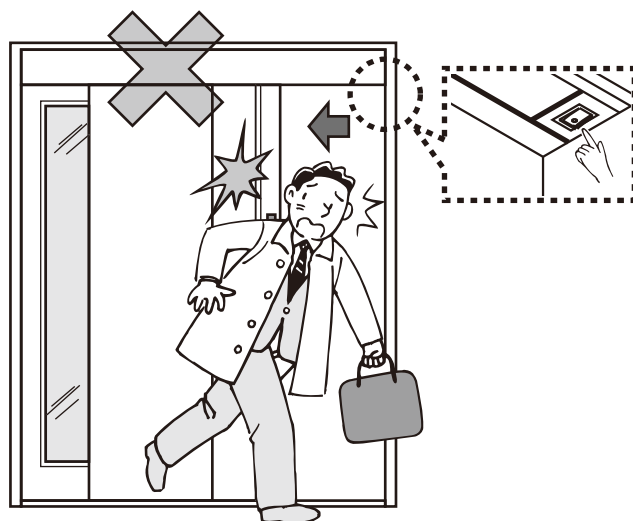
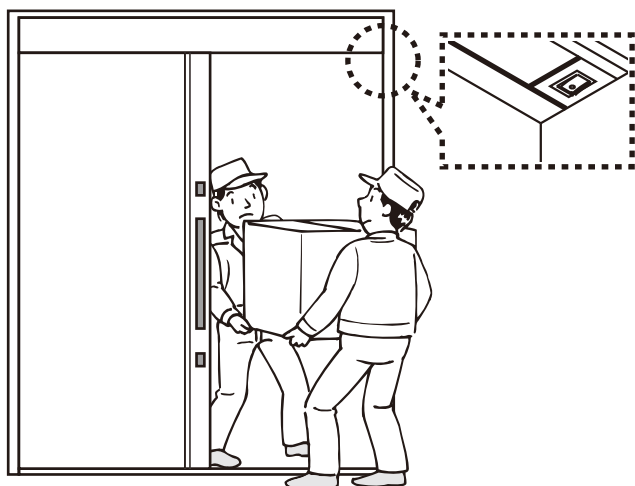


⚠ 注 意

- ・ 閉まりかけている引戸に駆け込まないでください。
- ・ 引戸付近で子供を遊ばせないでください。



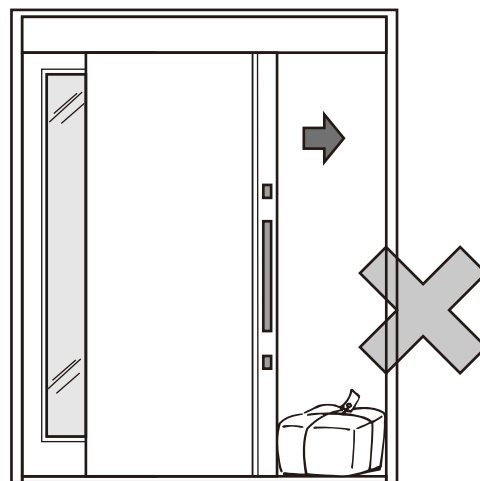
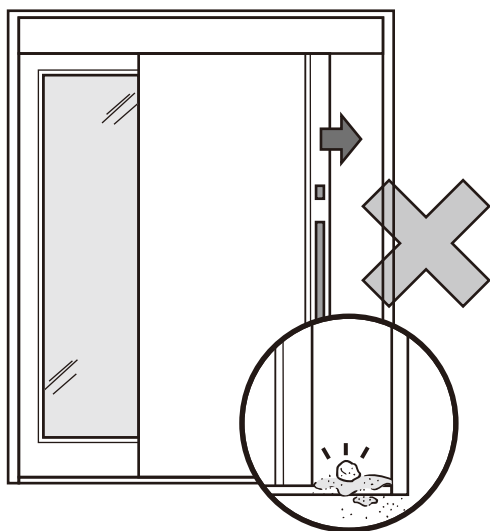
- ・ 大きな荷物などを運ぶとき、または建付け調整や掃除をするときなど、長時間引戸を開け放す際は電源スイッチを切ってください。
- ・ 引戸の開閉中にリニアユニットの電源スイッチを切らないでください。



- ・ リニアスライドシステムでタッチ／ノータッチ切替キー仕様の場合、来訪者の方には室内から引戸が自動で開くことを伝えてから解錠操作してください。

お願い

- リニアスライドシステムのタッチ／ノータッチ切替えキー仕様で外出の際は、専用リモコンだけでなく必ず通常のカギ（●—）もお持ちください。停電・故障などで解錠できない場合があります。
- 下記をお願い事項をお守りください。守らない場合は誤作動や故障の原因となります。
 - ・ 下枠内は常に清掃し、ゴミや小石など ・ 開閉位置にものを置かないでください。
 - がないようにしてください。



- ・ センサー・電気錠の機器類及び上枠部分（リニア機器）は、水洗いしないでください。
- ・ センサー・電気錠の機器類は、叩いたり、落したりしないでください。
- ・ 引戸に強い衝撃を加えたり、早く開け閉めしないでください。



- 季節や立地条件により、下記のような条件下ではリニア開閉及び電気錠による施解錠ができない場合があります。そのような場合は手動で操作してください。
 - ・ 作動温度範囲（ -10°C ～ 40°C ）外の場合。
 - ・ 台風などの強風の場合。
- 心臓ペースメーカーなどをご使用の方は、念のため医療機器メーカー様にご相談ください。

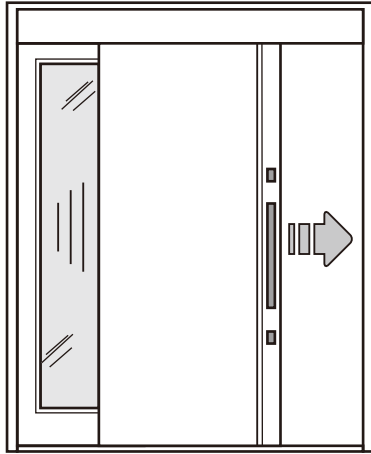
お願い

- 専用リモコンやCAZASカードは、高温・多湿環境では保管しないでください。部品が変形したり故障の原因になります。
- CAZASカードは折り曲げないでください。内部の電子回路が破損する原因になります。
- 外出の時には、必ず、施錠されたか確認してからお出かけください。
- 専用リモコンの電池寿命は約1年です。出荷時の電池は動作確認用のため、寿命が短い場合があります。又、電池交換後も使用状況によって、電池寿命が短くなるおそれがあります。
- 専用リモコンを用いて不正なリモコンキーを作製されるおそれがありますので、家族以外の人に貸したり渡したりしないでください。
- 油などによるひどい汚れは、プラスチック用クリーナー・中性洗剤などで拭いてください。(シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。)
- 使用済みの電池はすみやかに機器から取出し、お住まいの地域のルールにしたがって廃棄してください。機器内に放置しておくと液漏れなどの原因となります。
- 「リニアスライドシステム」の作動点検をする場合は必ずP.26～P.28の「点検について」をお守りください。

安全機能について

衝突位置記憶機能

- 前回、引戸が障害物にぶつかった位置を記憶しています。次の動作時には衝突位置手前で一時停止してから徐行動作します。(一回のみ)



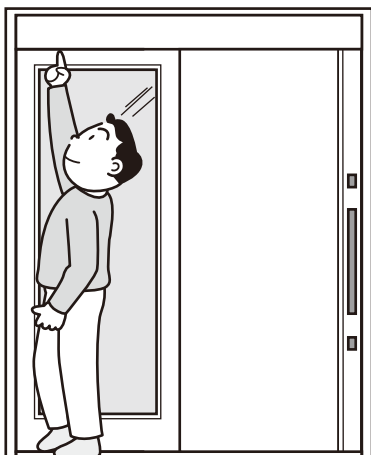
衝突反転機能

- 開閉中に引戸にぶつかると、自動で反転します。



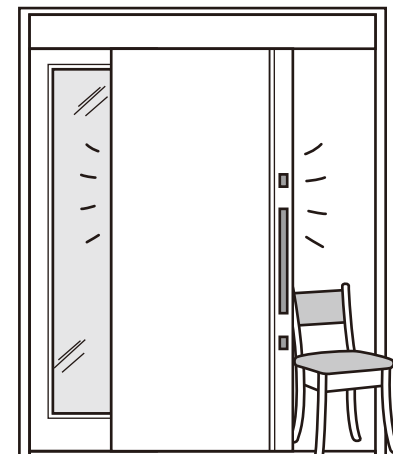
開放時間切替機能

- 開放時間設定ダイヤルにより開放時間を調整できます。



安全開放停止機能

- 開閉中に同じ場所で2回引戸にぶつかると、その場で停止します。(セーフティストップ機能)



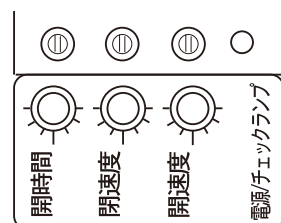
■開放時間切替機能の一覧について

開時間	引戸が開ききってから閉り始めるまでの時間	0～10秒	※
開速度	引戸が開く速度	0.2m/秒～0.5m/秒	
閉速度	引戸が閉じる速度	0.2m/秒～0.5m/秒	

※開時間をダイヤル10に設定すると、全開状態で開いたまま閉じてこないようになります。閉める場合には、障子を閉め方向に約1cm動かしてください。

※k6シリーズ及びPGシリーズの袖付2枚引きのみ、室内側の点検ブタの内側にコントローラーが入っています。

■設定ダイヤル拡大図 (リニアコントローラーBOX部)



ラチェット機能

- 開動作中に障子の開く速さより速い速度で全開位置まで障子を押し込んだ場合に、開放機能が働きます。又、全開後、開設定時間+3秒以上ドアを枠側に押付けると開放機能が働きます。復帰は閉め方向に約1cm動かしてください。

※k6シリーズ及びPGシリーズの袖付2枚引きの場合は、「開設定時間+3秒以上」押付けた場合のみ機能が働きます。

エンジン過熱保護機能

- 連続で開閉させたりしてモーターの温度が上昇すると、保護が作動し約10秒停止します。その時コントロールBOX部の電源/チェックランプが赤点灯します。温度が下がると自動的に復帰します。

リニアスライドシステムについて

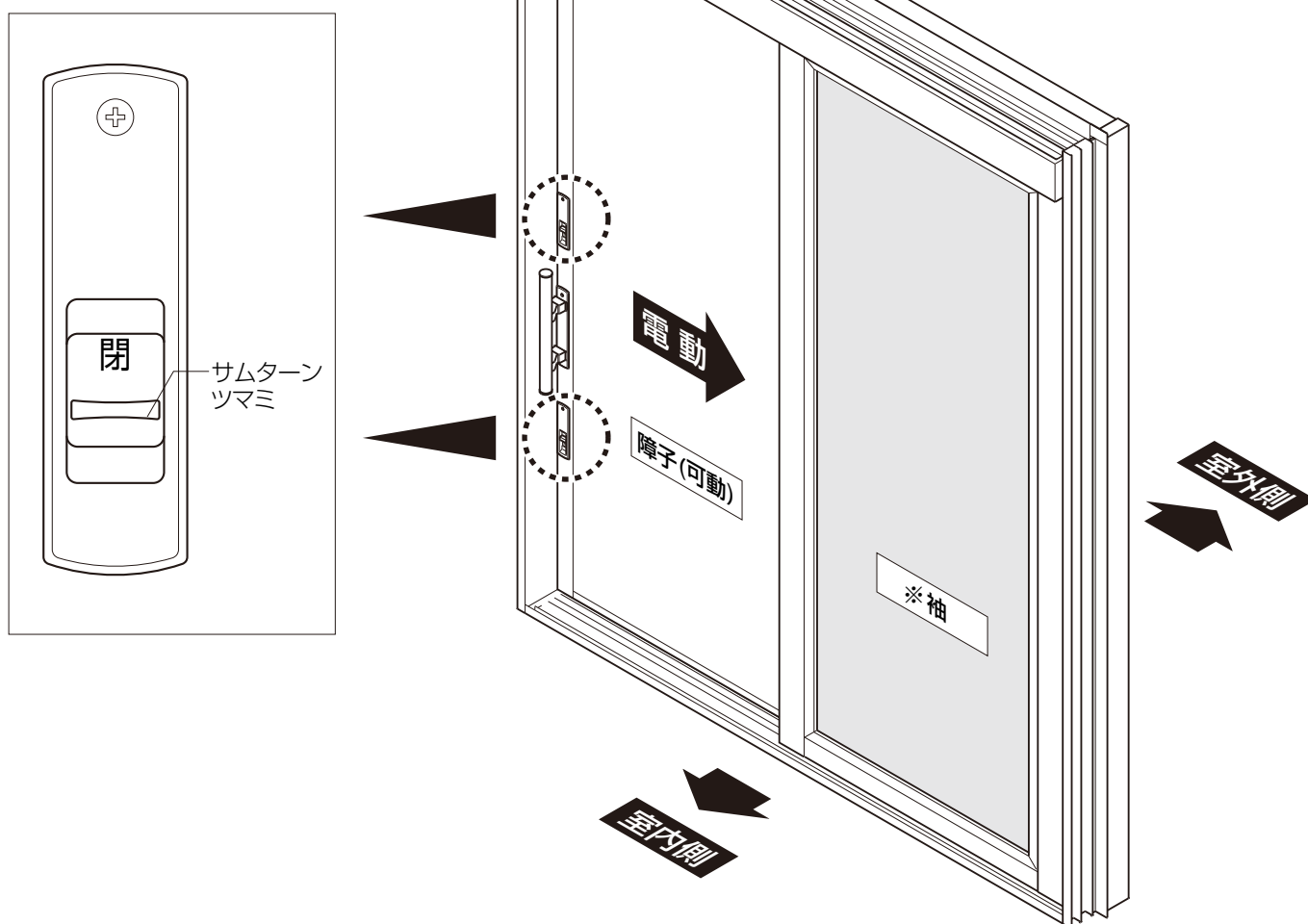
リニアスライドシステムの特長や事前を知っておいていただきたいことを説明しています。

1

リニアスライドシステムとは？

- 手動キー＋リニアスライドシステムは、カギを手動で開けて扉に軽く力を加えると開きます。通り過ぎると扉が閉まりますので、手動でカギをかけてください。
- 簡易タッチキー及び CAZASキー＋リニアスライドシステムは、カギを専用リモコンやCAZASカードなどで開けて扉に軽く力を加えると開きます。通り過ぎると扉が閉まり、カギも自動で締まる便利なシステムです。
- タッチ／ノータッチ切替えキー＋リニアスライドシステムは、カギが開くと扉が開き、通り過ぎると扉が閉まり、カギも自動で締まる大変便利なシステムです。

■サムターン



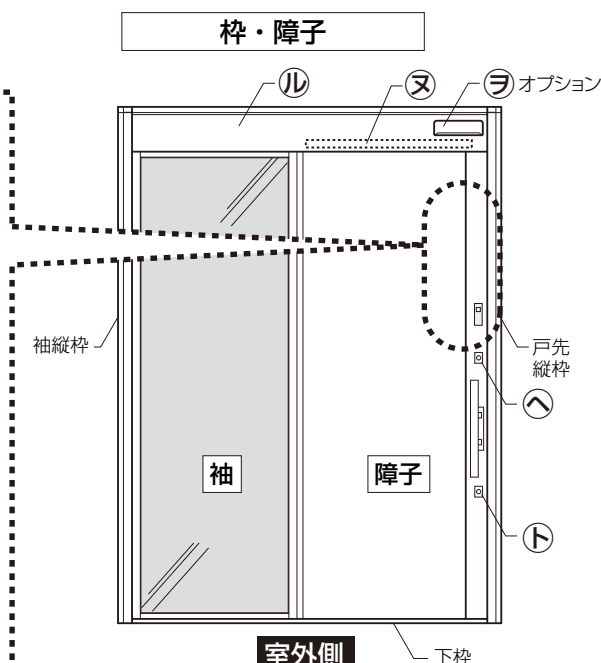
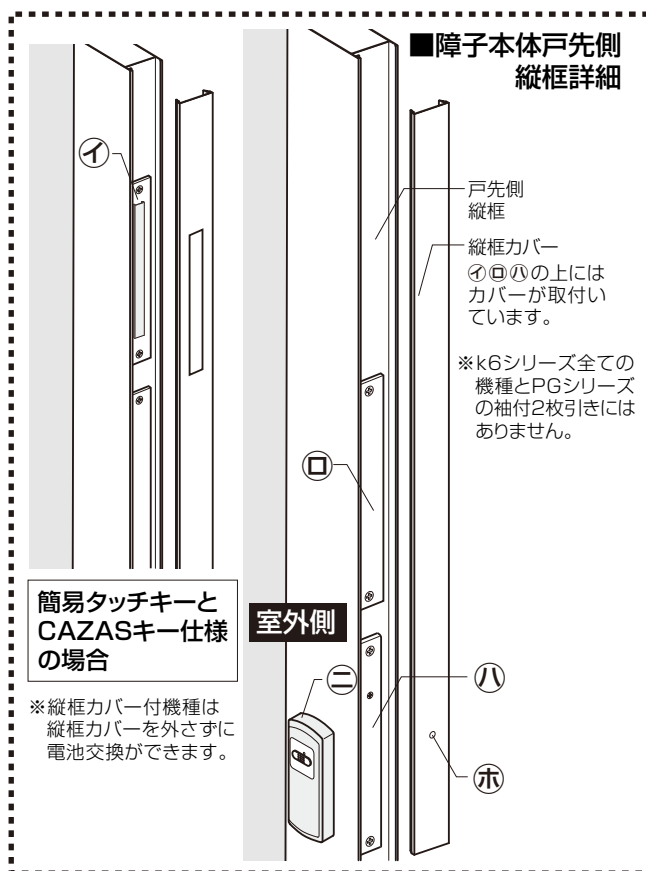
※図は片袖枠を表します。他の枠も機能は同様です。

- タッチ／ノータッチ切替えキー＋リニアスライドシステムの場合、電源スイッチを切れば通常のタッチ／ノータッチ切替キー仕様として使うことができます。また、電気錠の電源スイッチを切り、手動の引戸としてお使いいただくこともできます。
- オプションの上枠補助センサーを取付けた場合、そのセンサーの下に立っても引戸は開きません。（センサーの働きについてはP.11・12をご覧ください。）

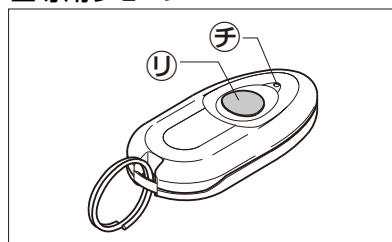
2

各部の名称(室外側)

※お使いいただく障子のデザインは、イラストと異なる場合があります。イラストはエルムーブリニアスライド（タッチ／ノータッチ切替キー）のものです。



専用リモコン



■各部の名称とはたらき

記号	名 前	はたらき
①	電池ボックス	電気錠を動かすためのアルカリ乾電池を入れます。
②	モーターユニット	電気錠の施錠・解錠を行う駆動部です。
③	受信器	専用リモコンやCAZASカードから発信される電波を受けて、施錠や解錠などの信号を出します。
④	受信部 注1)	タッチモード時の解錠操作を行うタッチボタンが付いています。また、動作範囲内に入ると点滅します。LEDランプ・音で専用リモコン操作時の状態をお知らせします。
⑤	登録ボタンキャップ 注2)	専用リモコンやCAZASカードを受信器に登録するときに、このキャップを外して行います。
⑥	上シリンダー	従来のカギ（  ）での施錠時に使用します。
⑦	下シリンダー	従来のカギ（  ）での施錠時に使用します。
⑧	確認(LED)ランプ	電波が発信されたことをお知らせします。また専用リモコンの電源ON/OFFの確認もできます。
⑨	施開錠ボタン	専用リモコンでの施錠・解錠操作時や電源ON/OFFのスイッチとして使用します。
⑩	給電ケーブル	電気錠の電源を枠から障子に伝達します。
⑪	点検フタ	リニアユニットを収納する部分でモーターなどの点検フタです。調整する場合以外は開けないでください。k6シリーズ・PGシリーズの袖付2枚引きには室内側にもあります。
⑫	上枠補助センサー(室外側)	P11・12をご覧ください。(オプション)

※手動キー+リニアスライドシステムの場合①②③④⑤⑥⑦⑧はありません。

※簡易タッチキー+リニアスライドシステムの場合⑩はありません。

※CAZASキー+リニアスライドシステムの場合⑨⑩⑫はありません。

※タッチ／ノータッチ切替えキー+リニアスライドシステムの場合⑪はありません。

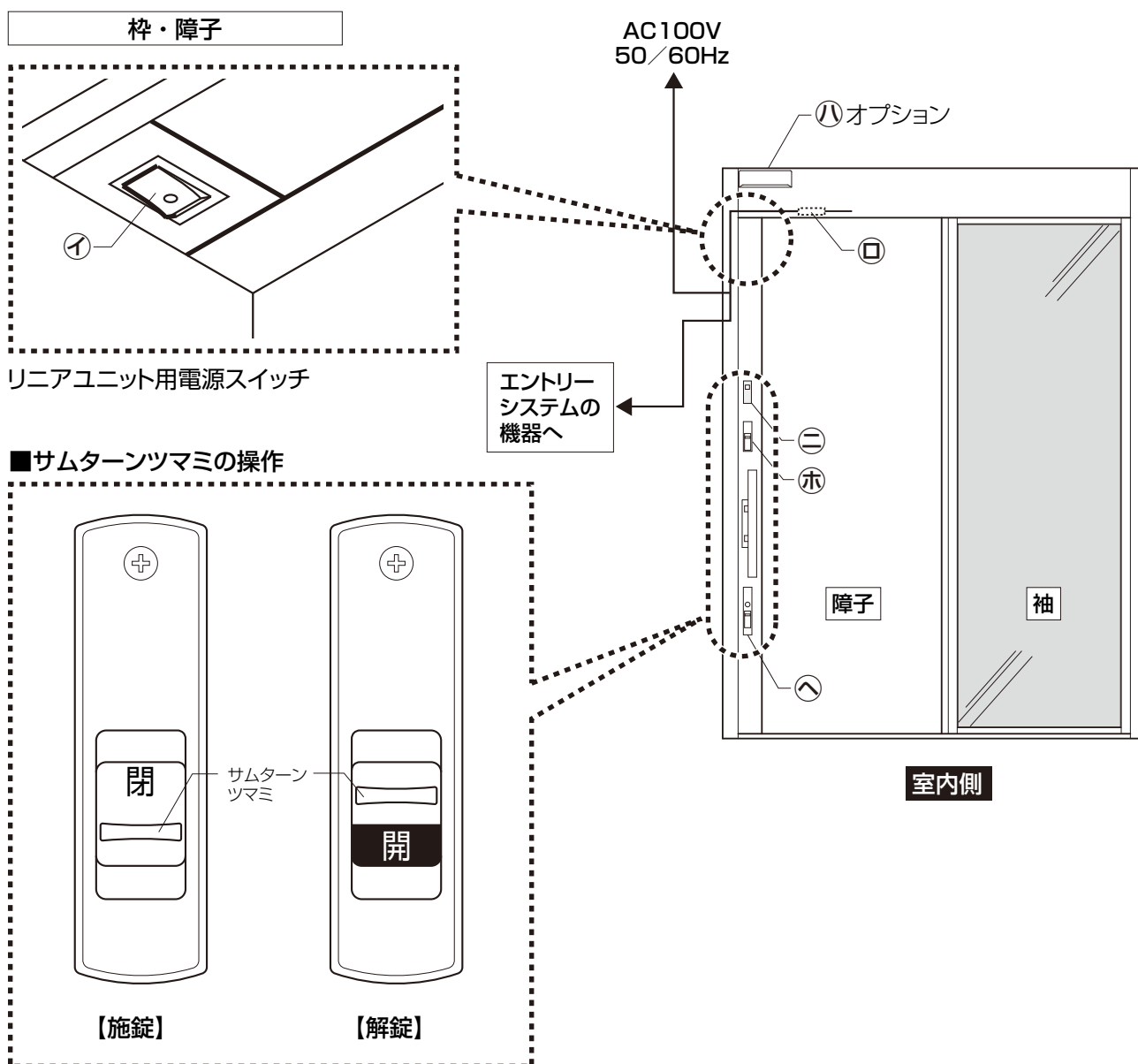
注1) CAZAS キー+リニアスライドシステムの場合はカードをかざす前にタッチするボタンがついています。(外観はイラストとは異なります)

注2) k6シリーズ全機種とPGシリーズの袖付2枚引きについては受信器本体にキャップ又はねじ(M3×5)がついています。

3

各部の名称(室内側)

※お使いいただく障子のデザインは、イラストと異なる場合があります。イラストはエルムーブリニアスライド（タッチ／ノータッチ切替キー）のものです。



各部の名称とはたらき

記号	名 前	はたらき
①	リニアユニット用電源スイッチ	リニアユニットの入／切スイッチです。
②	通電金具（枠側）	電気錠からの施解錠信号を中継して関連機器に伝達します。
③	上枠補助センサー（室内側）	P11・12をご覧ください。（オプション）
④	受信部	タッチモード時の解錠操作を行うタッチボタンが付いています。また、動作範囲内に入ると点滅します。LEDランプ・音で専用リモコン操作時の状態をお知らせします。
⑤	上サムターン	手動操作で施開錠するときに使用します。
⑥	下サムターン	手動操作で施開錠するときに使用します。

※手動キー＋リニアスライドシステムの場合④⑤はありません。

※簡易タッチキー＋リニアスライドシステムの場合④はありません。

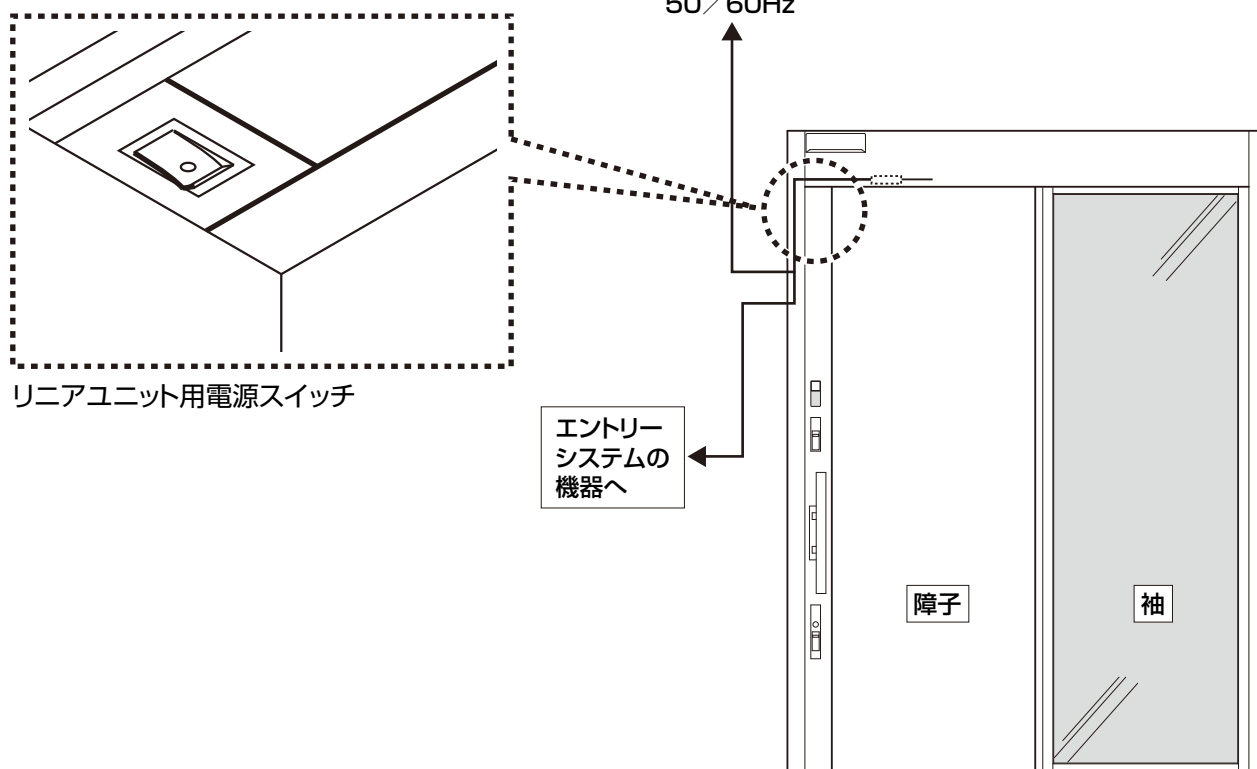
※CAZASキー＋リニアスライドシステムの場合④⑤はありません。

※通電金具が戸先側縦枠に付いている機種もあります。

4

リニアスライドシステムの構成と動作概要

構成図(室内側)

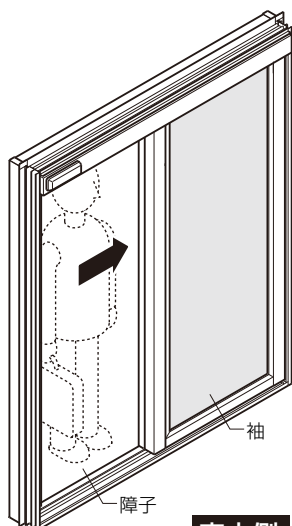


室内側

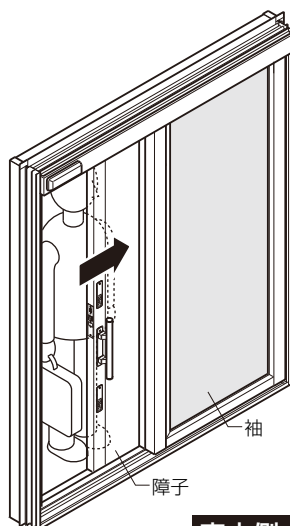
動作概要

※専用リモコンまたはCAZASカード操作時の動きを例に、動作の概要を説明しています。
(手動キー+リニアスライドシステムの場合、錠は自動で施錠されません。)

- ①専用リモコンまたはCAZASカードで操作をすると電気錠が解錠し、信号を受けたリニアユニットが駆動して障子が開き始めます。
- ②障子は全開で設定された時間停止します。
センサーの検知エリア内に人が居る場合は閉まりません。(P.11「センサー検知エリア」参照)
- ③人が通過し、センサーの検知エリアから離れると障子が閉まり始めます。障子は全閉状態で枠に当たり停止します。(P.11「センサー検知エリア」参照) その後、電気錠が自動施錠します。



室内側



室内側



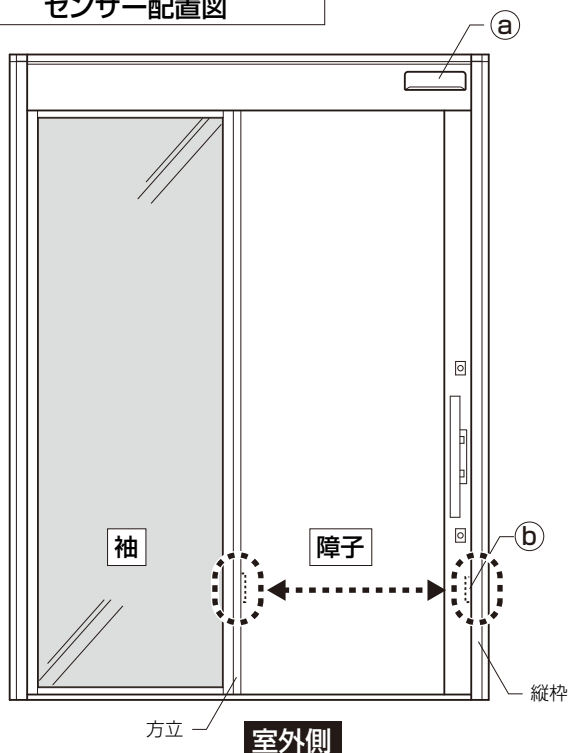
室内側

5

センサーのはたらきについて

※センサーのはたらきと検知エリアについて説明しています。

センサー配置図



■センサー名称

記 号	名 称
①(オプション)	上枠補助センサー
②	室内枠部補助センサー

※センサーは、あくまで補助的なものです。

※2枚建の場合、②の方立側取付部品は内障子召合せ框に付いています。

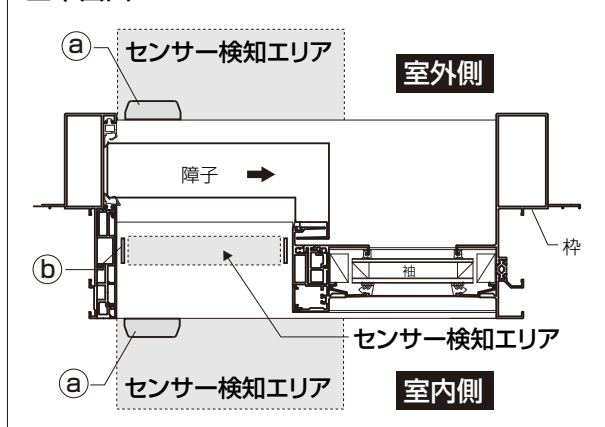
⚠ 注 意

- 開閉の際には、周囲に人・物がないことを確かめてから開閉してください。
はさまれてケガをしたり物をはさんだりするおそれがあります。

センサー検知エリア

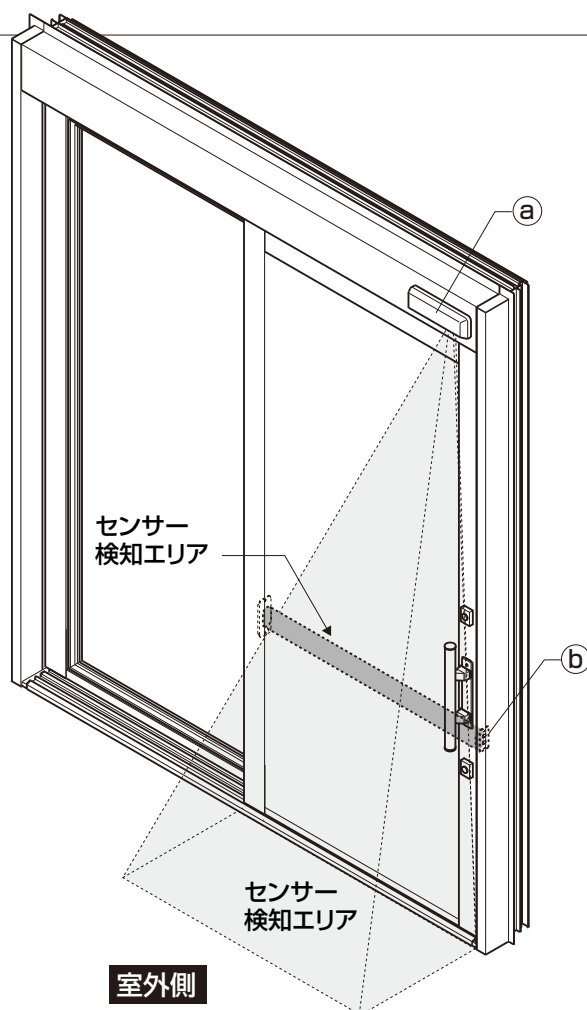
●右記のセンサー検知エリアは、イメージイラストです。

■平面図



お願い

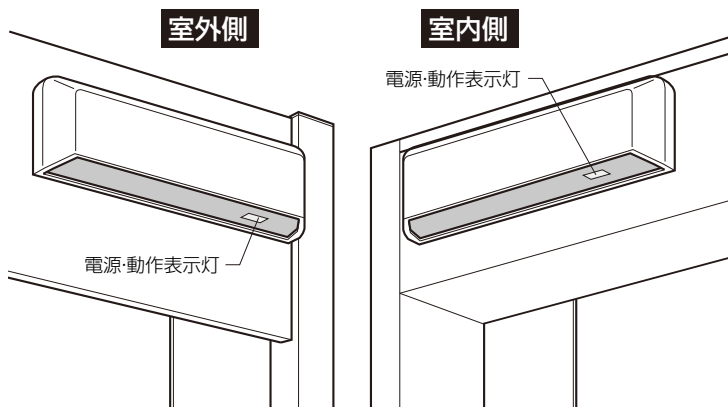
- 上枠補助センサーの取扱い説明書を見てセンサー検知エリアを調整してください。



各センサーの動き

1 上枠補助センサー(室内／室外側)

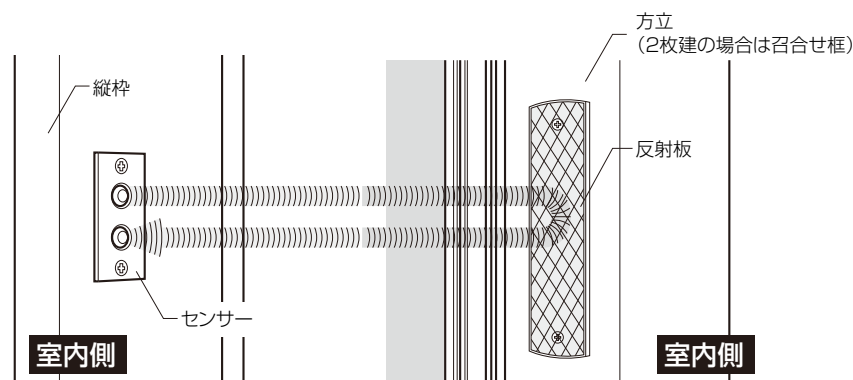
- 引戸が閉まる際に、検知エリア内に身体などの動くものがあると、センサーが検知し引戸が開きます。全閉時は閉じたまま反応しません。
- ※一定時間静止しているとセンサーが物と判断し、引戸が閉まります。
- ※枠の品種によっては、室内上枠補助センサーが付けられない製品があります。
- ※オプション品になります。



※電源OFF状態の場合は、消灯。

2 室内枠部補助センサー

- 引戸が閉まる際に反射式ビームがさえぎられると、センサーが検知し引戸が開きます。全閉時は、閉じたまま反応しません。



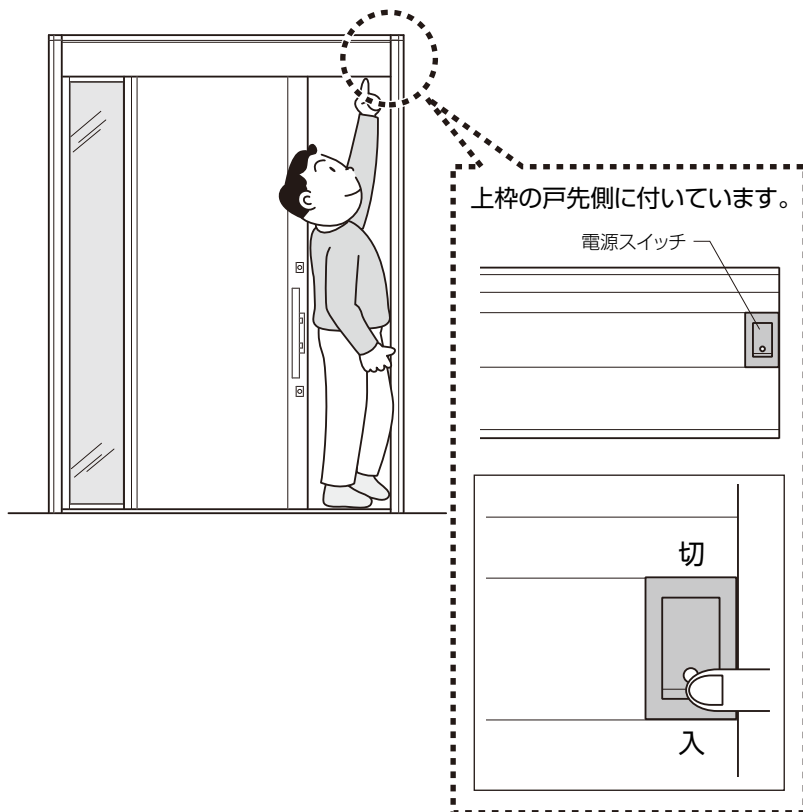
使用方法について

※お使いになる前に下記の自己学習を行ってください。

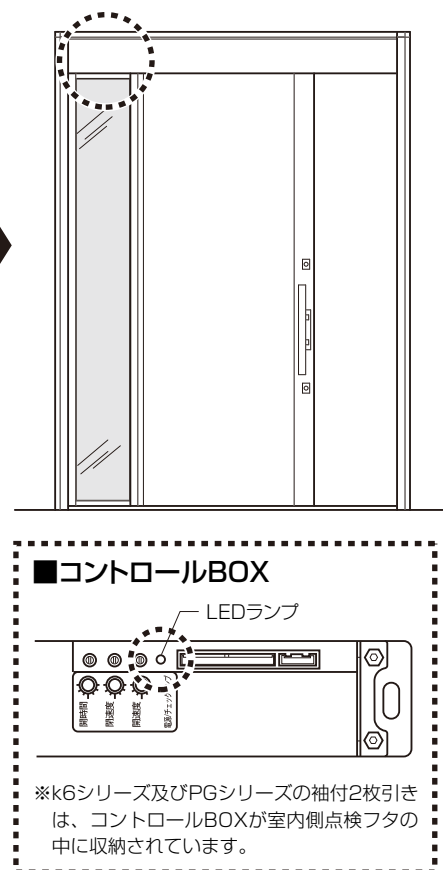
自己学習(開閉ストローク測定操作)

- 自己学習を行う際、安全センサー・起動センサー（オプション）の検出範囲から離れて行ってください。
（検出範囲は本文中に記載）

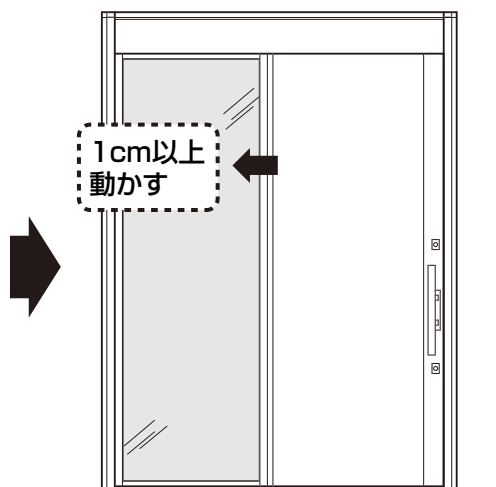
①電源スイッチを入れます。



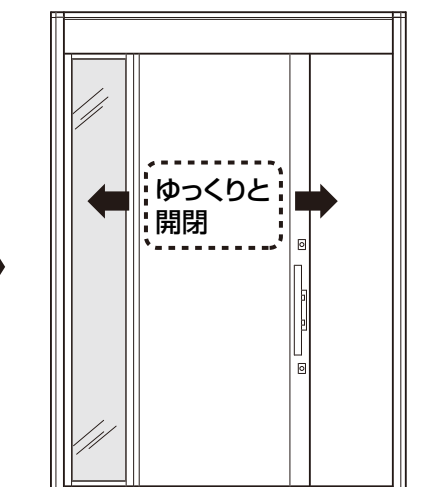
②LEDランプが5秒ほど点滅した後、点灯し、ゆっくりと閉まり始めます。



③引戸を少し(1cm以上)動かします。

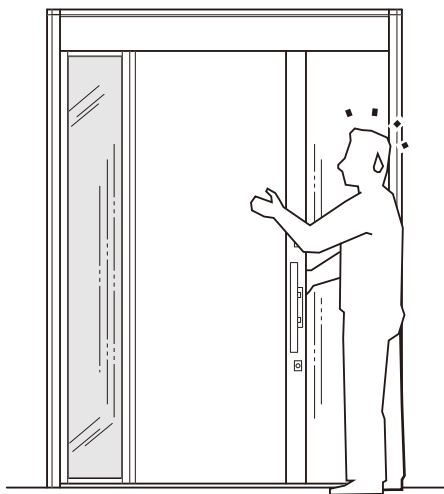


④全開し全閉するまで引戸に触れずに待ちます。

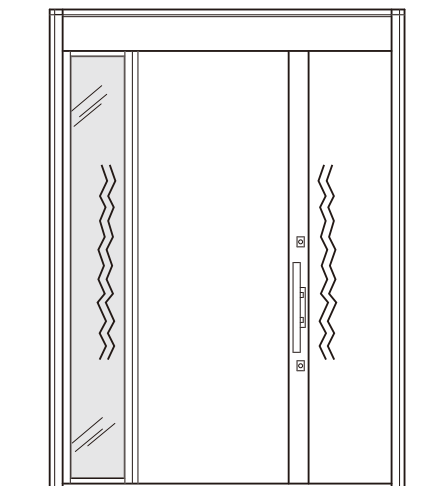


⑤自己学習が完了すると、次回の操作からスムーズに開閉します。

※下記状況の時は、一度電源を切り、自己学習を行ってください。



自己学習中に引戸にさわってしまった時。



引戸の動きがギコチない時。

基本操作方法

1

電源スイッチを入れるとき

電源スイッチを入れる前

- リニアユニットの電源スイッチを入れる前に、次のことを確認してください。

■確認事項

- ①引戸の開閉範囲に障害物がないこと。
- ②センサーのエリア内に人がいないこと。

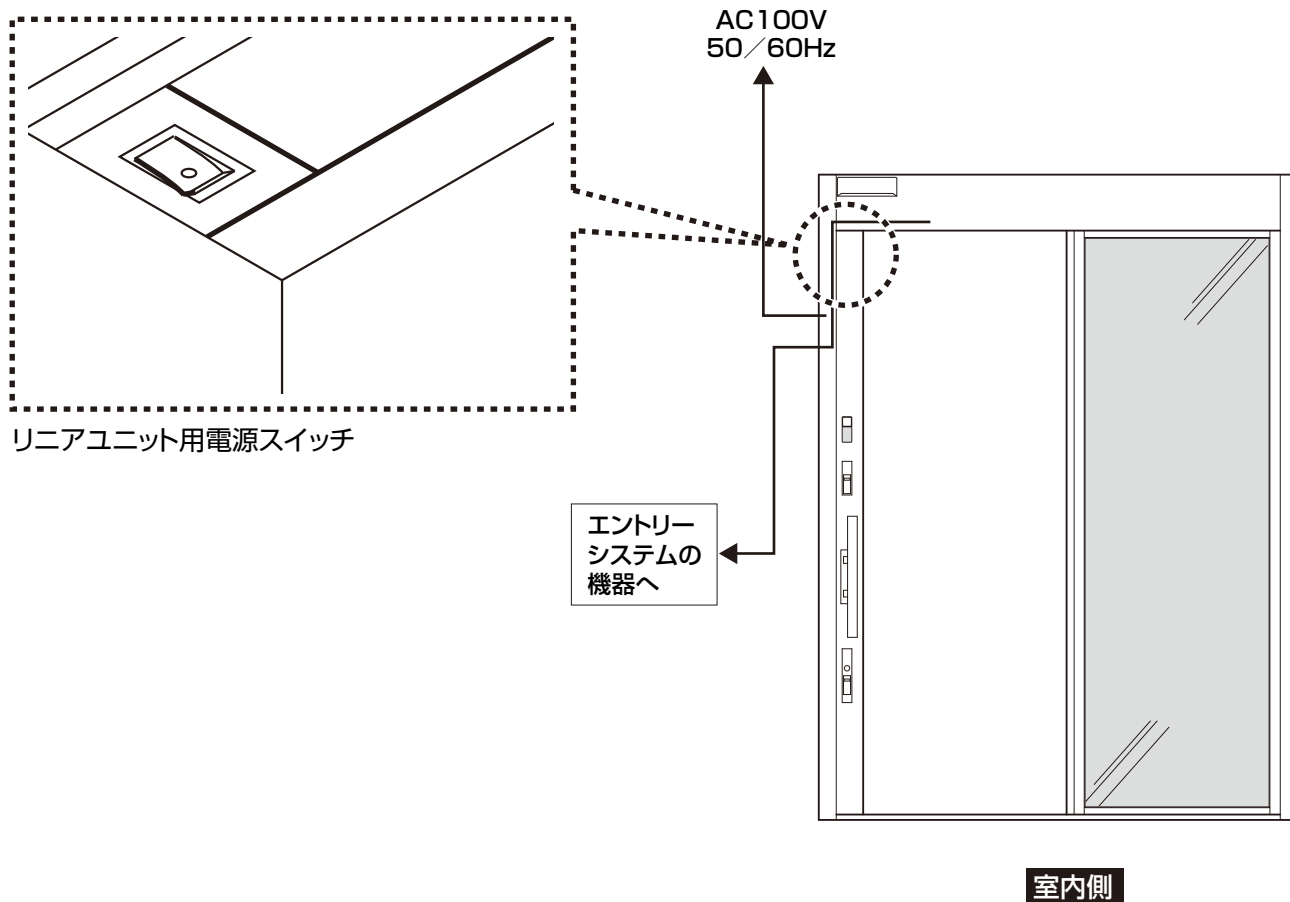
- 電源スイッチを入れた際、リニアユニットのコントローラが引戸の位置を確認するため、約5秒後に使用可能となります。

電源スイッチを入れた後

- リニアユニットの電源スイッチを入れた後に、次のことを確認してください。

■確認事項

- ①専用リモコンの施錠ボタンまたはカードキーの解錠操作で引戸がスムーズに開閉すること。
 - ②各センサーにより、引戸が反転すること。
- ※各センサーの点検方法は、P.26～28をご覧ください。
※①の方法は手動キー+リニアスライドシステムではできません。



※お使いいただく障子のデザインはイラストと異なる場合があります。

2

電源スイッチを切るとき

- リニアユニットの電源スイッチを切る前に、次のことを確認してから行ってください。

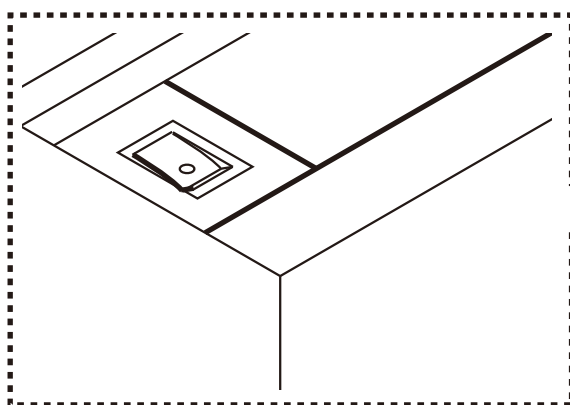
■確認事項

- ① 人が通行していないこと。
- ② 引戸が停止していること。

⚠ 注 意

- 引戸の開閉中にリニアユニットの電源スイッチを切らないでください。引戸がそのまま惰性で動き、通行中の人が衝突してケガをすることがあります。

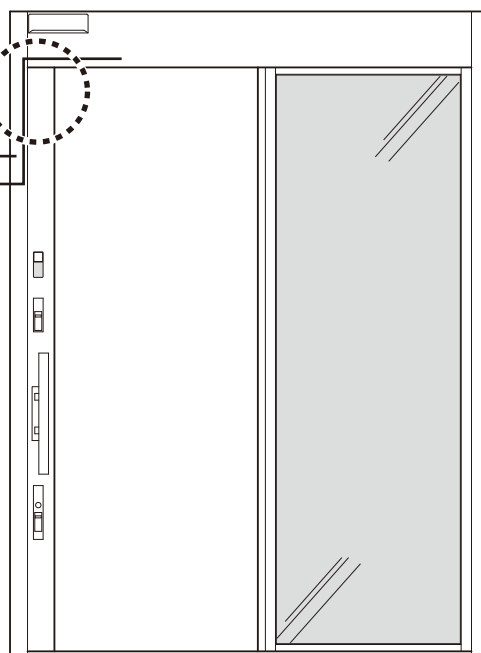
- 再び電源スイッチを入れる場合はP.15をご覧ください。その際、確認事項を必ず確認してから電源スイッチを入れてください。



リニアユニット用電源スイッチ

AC100V
50/60Hz

エントリー
システムの
機器へ



室内側

※お使いいただく障子のデザインはイラストと異なる場合があります。

3

帰宅時の操作

【タッチ／ノータッチ切替キー＋リニアスライドシステム】

【簡易タッチキー＋リニアスライドシステム】

■タッチキーモードで操作する場合（簡易タッチキーはこのモードのみの機能です）

室 外

- 専用リモコンを携帯して受信部のタッチスイッチを押すと解錠し、受信器から解錠確認音が2回（ビッピッ）鳴ります。
- このあと、タッチ／ノータッチ切替キー仕様は電動で引戸が開きます。簡易タッチキー仕様は手で引戸を開け方向に約1cm動かすと電動で開きます。

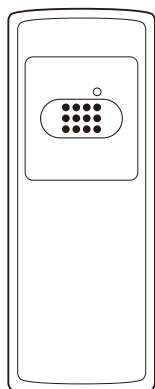


室 内

- 開状態でいったん停止した後引戸が電動で閉まります。その後自動で施錠し、受信器から施錠確認音が1回（ピッ）鳴ります。

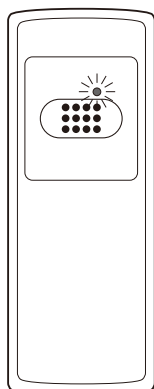


受信器の表示



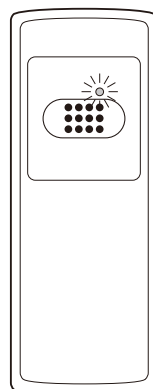
●通常時

LEDランプ点灯なし。



●解錠動作時

LEDランプ緑が赤へ。



●施錠動作時

LEDランプ赤が緑へ。

- ノータッチモードでの操作時は、近づくだけで解錠します。
その後の動作はタッチモードの時と同じです。
 - 専用リモコンの施解錠ボタンでも操作出来ます。
 - ・専用リモコンの施解錠ボタンは、
引戸が施錠状態であれば、解錠動作。
引戸が解錠状態であれば、施錠動作をします。
 - ・専用リモコンの到達距離は約3mです。
 - ⇒近くにテレビ塔や発電所・放送局などの強い電波を発生する設備があるなど、周囲の状況により到達距離は短くなる場合があります。
 - 各タッチキーシステムの詳しい取扱いについては、別冊の「簡易タッチキーシステム・タッチ／ノータッチ切替えキーシステム取扱い説明書」をご覧ください。
 - 各遠隔操作機器（有償品）でも操作できます。
 - ・各遠隔操作機器の詳しい操作方法は、それぞれの取扱い説明書をご覧ください。
- ※タッチ／ノータッチ切替キー＋リニアスライドシステムのときに限ります。



【CAZASキー+リニアスライドシステム】

■CAZASキーで操作する場合

室 外

- 受信部のタッチスイッチを押してからCAZASカードをかざすと解錠し、受信器から解錠確認音が2回（ピッピッ）鳴り、電動で引戸が開きます。

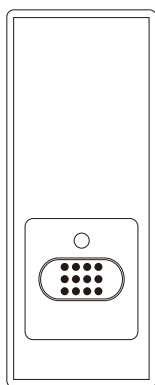


室 内

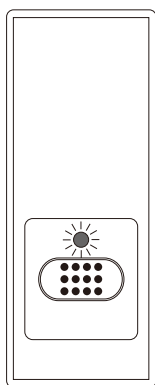
- 開状態でいったん停止した後引戸が電動で閉まります。その後自動で施錠し、受信器から施錠確認音が1回（ピッ）鳴ります。



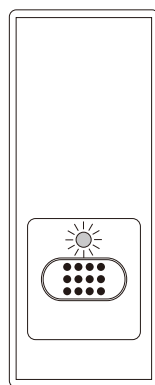
受信器の表示(室外側のみ)



- 通常時
LEDランプ点灯なし。



- 解錠動作時
LEDランプ緑が赤へ。



- 施錠動作時
LEDランプ赤が緑へ。

- CAZASシステムの詳しい取扱いについては、別冊の「CAZASキーシステム（引戸用）取扱い説明書」をご覧ください。

【タッチ／ノータッチ切替キー＋リニアスライドシステム】

【簡易タッチキー＋リニアスライドシステム】

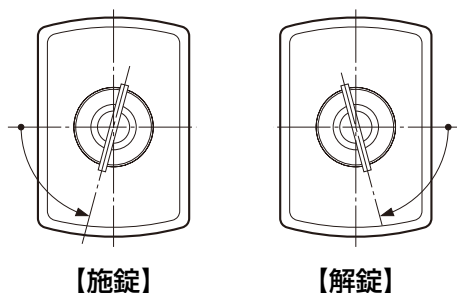
【CAZASキー＋リニアスライドシステム】

■手で操作する場合

室 外

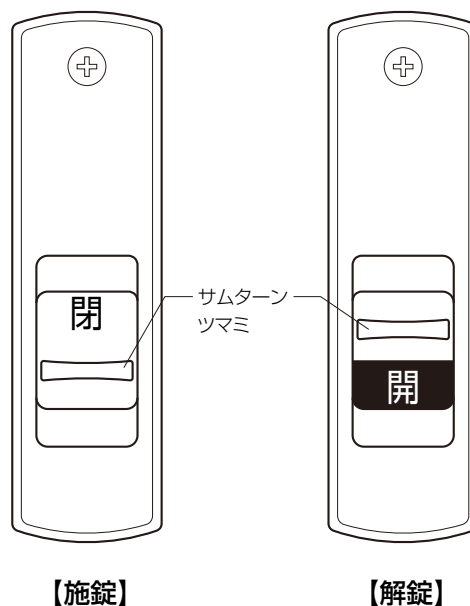
- カギ（）で解錠します。
 - 手で引戸を開け方向に約1cm動かすと電動で開きます。
- ※引戸を自動施錠したくない場合は、カギ（）により解錠してください。

●キー操作(シリンダー差込み／ヨコ)



室 内

- 開状態でいったん停止した後引戸が電動で閉まります。
 - 手で解錠すると引戸が閉まっても自動施錠はされません。引戸が閉まっている間にサムターンツマミを操作して施錠してください。
- ※タッチ／ノータッチの場合は、引戸が閉まっている間に必ず施錠してください。自動施錠されないことで再び引戸が電動で開く場合があります。



【手動キー＋リニアスライドシステム】

■操作方法

室 外

- カギ（）で解錠します。
- 手で引戸を開け方向に約1cm動かすと電動で開きます。

室 内

- 開状態でいったん停止した後引戸が電動で閉まります。
- 引戸が閉まっても自動施錠はされませんので、手動でサムターンツマミを操作して施錠します。

4

外出時の操作

【タッチ／ノータッチ切替キー＋リニアスライドシステム】

【簡易タッチキー＋リニアスライドシステム】

■タッチキーモードで操作する場合（簡易タッチキーはこのモードのみの機能です）

お願い

- 外出のときは、必ず施錠されているか確認してからお出かけください。

室内

- 専用リモコンを携帯して受信部のタッチスイッチを押すと解錠し、受信器から解錠確認音が2回（ピッピッ）鳴ります。
- このあと、タッチ／ノータッチ切替キー仕様は電動で引戸が開きます。簡易タッチキー仕様は手で引戸を開け方向に約1cm動かすと電動で開きます。

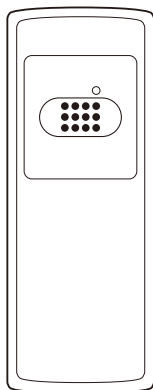


室外

- 開状態でいったん停止した後引戸が電動で閉まります。その後自動で施錠し、受信器から施錠確認音が1回（ピッ）鳴ります。

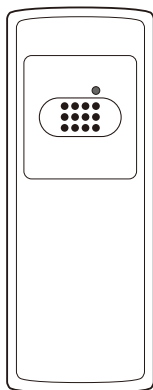


受信器の表示



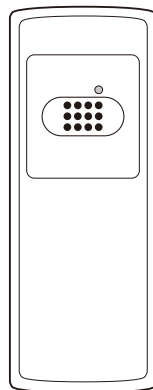
●通常時

LEDランプ点灯なし。



●解錠動作時

LEDランプ緑が赤へ。



●施錠動作時

LEDランプ赤が緑へ。

- ノータッチモードでの操作時は、近づくだけで解錠します。その後の動作はタッチモードの時と同じです。
 - 専用リモコンの施解錠ボタンでも操作出来ます。
 - ・専用リモコンの施解錠ボタンは、引戸が施錠状態であれば、解錠動作。引戸が解錠状態であれば、施錠動作をします。
 - ・専用リモコンの到達距離は約3mです。
 - ⇒近くにテレビ塔や発電所・放送局などの強い電波を発生する設備があるなど、周囲の状況により到達距離は短くなる場合があります。
 - 各タッチキーシステムの詳しい取扱いについては、別冊の「簡易タッチキーシステム・タッチ／ノータッチ切替えキーシステム取扱い説明書」をご覧ください。
 - 各遠隔操作機器（有償品）でも操作できます。
 - ・各遠隔操作機器の詳しい操作方法は、それぞれの取扱い説明書をご覧ください。
- ※タッチ／ノータッチ切替キー＋リニアスライドシステムのときに限ります。



【CAZASキー+リニアスライドシステム】

■CAZASキーで操作する場合

室 内

- サムターンツマミを操作して解錠します。
- 手で引戸を開け方向に約1cm動かすと、電動で開きます。

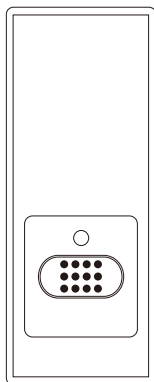


室 外

- 開状態でいったん停止した後引戸が電動で閉まります。
- 受信部のタッチスイッチを押してからCAZASカードをかざすと施錠し、受信器から施錠確認音が1回（ピッ）鳴ります。

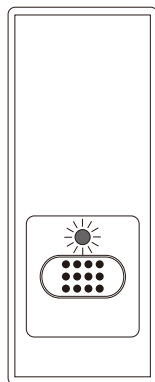


受信器の表示(室外側のみ)



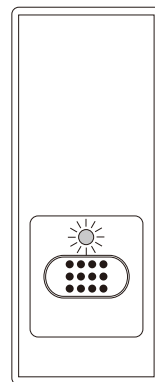
●通常時

LEDランプ点灯なし。



●解錠動作時

LEDランプ緑が赤へ。



●施錠動作時

LEDランプ赤が緑へ。

- CAZASシステムの詳しい取扱いについては、別冊の「CAZASキーシステム（引戸用）取扱い説明書」をご覧ください。

【タッチ／ノータッチ切替キー＋リニアスライドシステム】

【簡易タッチキー＋リニアスライドシステム】

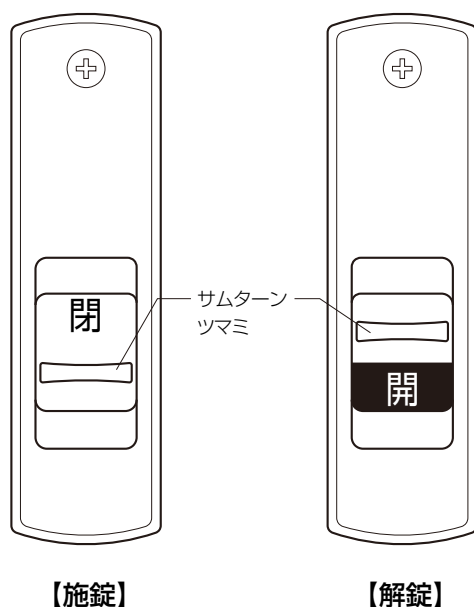
【CAZASキー＋リニアスライドシステム】

■手動で操作する場合

室 内

- サムターンツマミを操作して解錠します。
- 手で引戸を開け方向に約1cm動かすと電動で開きます。

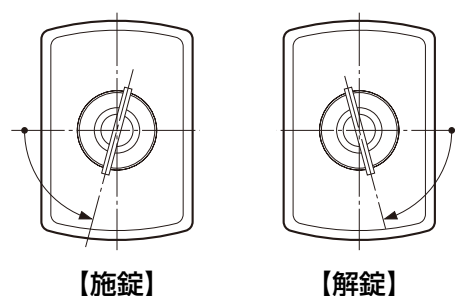
●サムターンツマミ操作



室 外

- 開状態でいったん停止した後引戸が電動で閉まります。
 - 手動で解錠すると引戸が閉まっても自動施錠はされません。カギ（）で施錠してください。
- ※タッチ／ノータッチの場合は、引戸が閉まっている間に必ず施錠してください。自動施錠されないことで再び引戸が電動で開く場合があります。

●キー操作（シリンダー差込み／ヨコ）



※室外側から専用リモコンまたは遠隔操作機器（有償品）でも施錠できます。
⇒各操作機器の詳しい操作方法は、それぞれの取扱い説明書をご覧ください。

【手動キー＋リニアスライドシステム】

■操作方法

室 内

- サムターンツマミを操作して解錠します。
- 手で引戸を開け方向に約1cm動かすと電動で開きます。

室 外

- 開状態でいったん停止した後引戸が電動で閉まります。
- 引戸が閉まっても自動施錠はされませんので、カギ（）により施錠します。

5

来客時の操作

【タッチ／ノータッチ切替キー＋リニアスライドシステム】

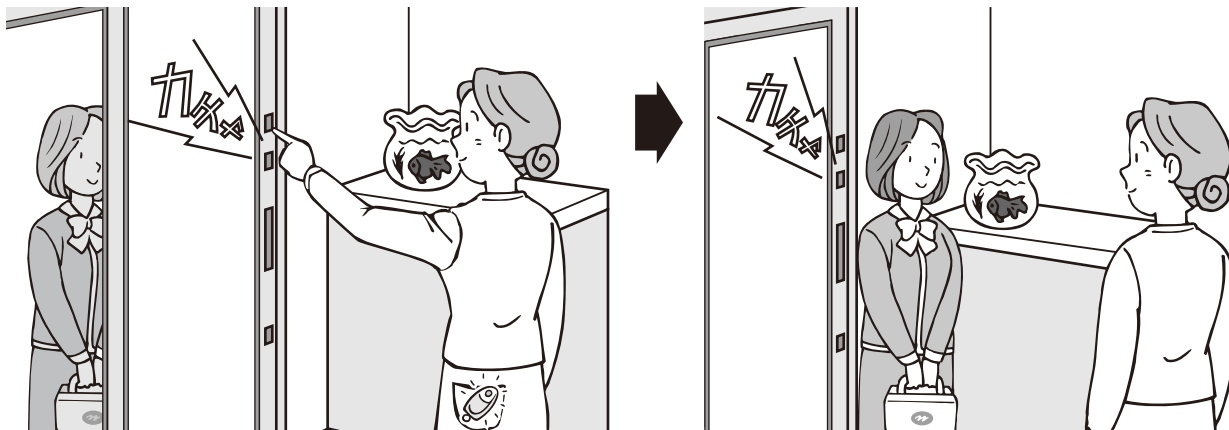
【簡易タッチキー＋リニアスライドシステム】

■タッチキーモードで操作する場合（簡易タッチキーはこのモードのみの機能です）

室内

- 玄関口まで行って来訪者を確認し、専用リモコンを携帯して受信部のタッチスイッチを押すと解錠し、受信器から解錠確認音が2回（ピッピッ）鳴り、電動で引戸が開きます。

- 開状態でいったん停止した後引戸が電動で閉まります。その後自動で施錠し、受信器から施錠確認音が1回（ピッ）鳴ります。



！ 注 意

- 来訪者の方には、室内から引戸が電動で開くことをインターホンなどで伝えてから解錠操作を行ってください。来訪者が思わぬケガをするおそれがあります。
- 閉まりかけた引戸にぶつかってしまうおそれがありますので、引戸を開けた状態で、開閉位置で来訪者と立ち話しなどをしないでください。

- ノータッチモードでの操作時は、近づくだけで解錠します。その後の動作はタッチモードの時と同じです。

- 専用リモコンの施解錠ボタンでも操作出来ます。

- ・専用リモコンの施解錠ボタンは、引戸が施錠状態であれば、解錠動作。引戸が解錠状態であれば、施錠動作をします。
- ・専用リモコンの到達距離は約3mです。

⇒近くにテレビ塔や発電所・放送局などの強い電波を発生する設備があるなど、周囲の状況により到達距離は短くなる場合があります。

- 各タッチキーシステムの詳しい取扱いについては、別冊の「簡易タッチキーシステム・タッチ／ノータッチ切替キーシステム取扱い説明書」をご覧ください。

- 各遠隔操作機器（有償品）でも操作できます。

- ・各遠隔操作機器の詳しい操作方法は、それぞれの取扱い説明書をご覧ください。

※タッチ／ノータッチ切替キー＋リニアスライドシステムのときに限ります。



【CAZASキー+リニアスライドシステム】

■CAZASキーでの操作

※CAZASキーで室内からの操作はできません。手動のみの操作となります。

室 内

- サムターンツマミを操作して解錠します。
- 手で引戸を開け方向に約1cm動かすと電動で開きます。
- 開状態でいったん停止した後引戸が電動で閉まります。
- 引戸が閉まっても自動施錠はされませんので、手動でサムターンツマミを操作して施錠します。

【タッチ／ノータッチ切替キー+リニアスライドシステム】

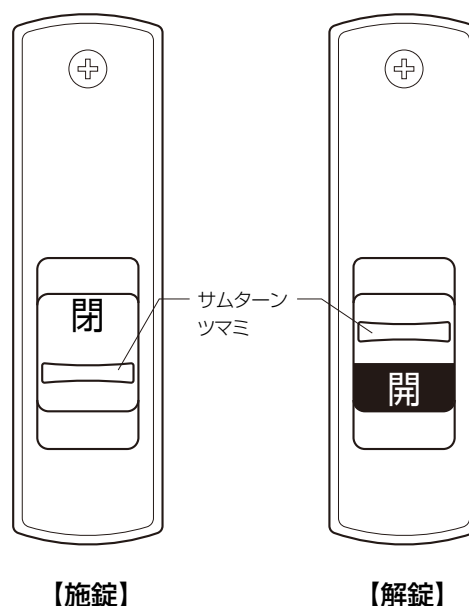
【簡易タッチキー+リニアスライドシステム】

■手動で操作する場合

室 内

- サムターンツマミを操作して解錠します。
- 手で引戸を開け方向に約1cm動かすと電動で開きます。
- 開状態でいったん停止した後引戸が電動で閉まります。
- 手動で解錠操作をすると引戸が閉まっても自動施錠されませんので、手動でサムターンツマミを操作して施錠します。

●サムターンツマミ操作



！ 注 意

- 閉まりかけた引戸にぶつかってしまうおそれがありますので、引戸を開けた状態で、開閉位置で来訪者と立ち話しなどをしないでください。

※室内側から手動または専用リモコン・遠隔操作機器（有償品）でも施錠できます。
⇒各操作機器の詳しい操作方法は、それぞれの取扱い説明書をご覧ください。

【手動キー+リニアスライドシステム】

■操作方法

室 内

- サムターンツマミを操作して解錠します。
- 手で引戸を開け方向に約1cm動かすと電動で開きます。
- 開状態でいったん停止した後引戸が電動で閉まります。
- 引戸が閉まっても自動施錠はされませんので、手動でサムターンツマミを操作して施錠します。

6

就寝時の操作

■就寝する前には…

※施錠されているかを下記の方法で確認してからご就寝ください。

メインコントローラでの確認方法

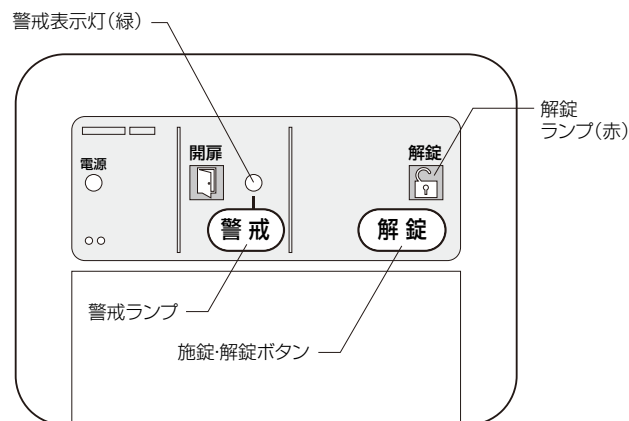
※メインコントローラー（有償品）が設置されている場合。

■解錠ランプの表示

 (赤色で点灯)	 (消 灯)
錠の状態	
解錠	施錠

●メインコントローラ

※形状がイラストと違う場合があります。



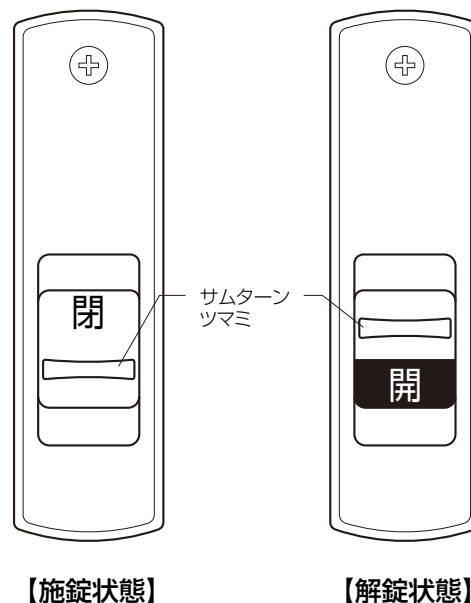
お願い

- メインコントローラの解錠ランプは、上サムターンの状態を表示しています。解錠ランプが消灯していても、下サムターンは施錠されていない可能性がありますので必ず確認してください。

サムターンでの確認方法

※電気錠システムには、おやすみになる際に警戒操作すれば、不正に解錠された時などに警戒音が鳴る警報機能が付いている操作機器もあります。

⇒詳しい操作方法は、操作機器の取扱い説明書をご覧ください。



停電時の使用方法

停電時の操作

- 停電した時はリニアユニットも電気錠も作動しませんので、施解錠操作・開閉操作は手動で行ってください。
※ただし簡易タッチキー仕様及びCAZASキー仕様は停電時でも電気錠は作動します。

お願い

- 手動で解錠した場合、そのまま停電から復帰しても自動で施錠されませんので、手動で施錠してください。

停電時の状態

- 停電しても手動で操作するまでは、引戸・カギは停電前の状態のままです。
(停電したからといって、引戸が開いたり解錠されたりすることはありません。)

停電前		停電中	
引戸の状態	カギの状態	引戸の状態	カギの状態
全 閉	施 錠	全閉のまま	施錠のまま ※1)
全 閉	解 錠	全閉のまま	解錠のまま ※2)
開く途中／閉まる途中	解 錠	その場で停止	解錠のまま ※3)

- ※1) 簡易タッチキー仕様及びCAZASキー仕様はこの状態からでも専用リモコンやCAZASキーの操作により解錠操作ができます。(ただしCAZASキーでの操作は室外側からのみ可能です)
- ※2) 簡易タッチキー仕様及びCAZASキー仕様は専用リモコンやCAZASキーを使用して解錠操作していた場合のみ引戸が全閉の状態で30秒経過すると自動施錠します。手動で解錠操作をしていた場合は解錠状態のままとなります。
- ※3) 引戸が少しでも開いている状態ではどの電気錠システムでも施解錠操作はできません。

⚠ 注 意

- 引戸が開いた状態で停電から復帰した場合、センサーは検知せずに電動で閉まってきますのではされないように注意してください。
⇒引戸が開いた状態で停電した場合は、そのままにせず引戸を閉めて復帰を待つようにしてください。

点検について

点検頻度と点検箇所

- 「リニアスライドシステム」を安心してご使用いただくために、下記の定期点検を必ず行ってください。点検を行って作動不良や異常がありましたら、P.1の連絡先までご連絡ください。

定期点検頻度： 1回／月 程度

⚠ 注 意

- 各センサーの点検を行なう場合は、必ず本章の手順を守ってください。本章の手順を守らない場合は、事故のおそれがあります。

■センサー

番号	点検箇所	点検内容	参照頁
①	上枠補助センサー(室内・室外側)	センサーの検知により 閉まりかけた引戸が反転するか？	P.27
②	室内枠部補助センサー	センサーの検知により 閉まりかけた引戸が反転するか？	P.28

点検方法

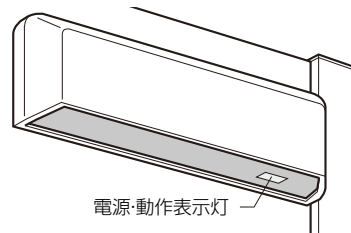
1 上枠補助センサー(室内・室外側)

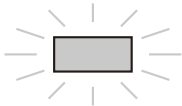
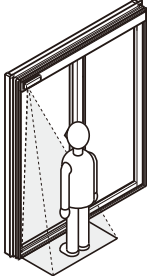
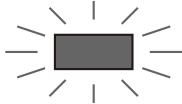
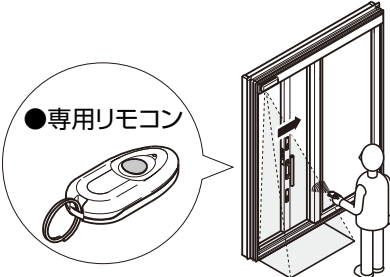
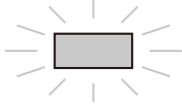
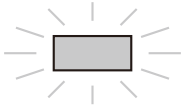
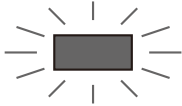
●引戸が閉まる際に、センサーが検知して引戸が開くかを、センサーの表示と合わせて確認します。

※室内外とも同様の方法で点検してください。

※上枠補助センサーは、オプション品になります。

●上枠補助センサー(室内・室外側)



		電源・動作表示灯の状態	
手順1	①リニアユニットの電源スイッチが入っていることを確認し、センサーの検知エリアの外から中に入ります。	 室内側	 (緑色 / 点灯)
	②電源・動作表示灯が正常に点灯するか確認します。		 (赤色or橙色 / 点灯)
手順2	①専用リモコン又は電気錠で解錠操作して、センサーの検知エリアから離れます。	 ●専用リモコン	 (緑色 / 点灯)
	①引戸が閉まり始めたら、センサーの検知エリアの中に入ります。		 (緑色 / 点灯)
手順3	②閉まりかけた引戸が反転するかを確認します。		 (赤色or橙色 / 点灯)

閉まりかけた引戸が反転すれば正常です。

2 室内柵部補助センサー

- 引戸が閉まる際に、センサーが検知し引戸が開いたままになるかを確認します。

手順1	①縦柵に付いている反射式ビームセンサーの出入口を、養生テープなど粘着力の比較的弱いものでふさぎます。 ※テープが薄いとビームが透過してしまう可能性がありますので、なるべく数枚重ね張りしてから点検してください。
手順2	①専用リモコン又は電気錠で解錠操作して、引戸を開けます。
手順3	①センサーの検知エリアから離れても、引戸が閉まらないことを確認します。 ●室内／室外補助センサー 電源・動作表示灯の状態 (緑色 / 点灯)
引戸が開いたままで、閉まってこなければ正常です。	
手順4	①ビームセンサーの出入口に張付けた養生テープをはがします。 お願い ●テープののりなどが残らないようにしてください。誤動作の原因になります。 室外側

お手入れについて

お手入れのしかた

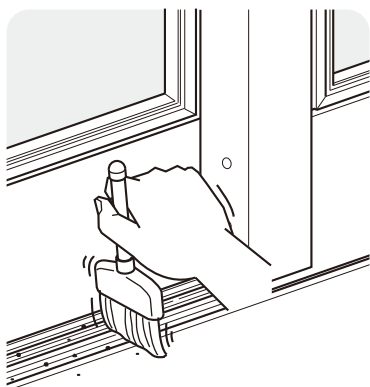
- 「リニアスライドシステム」を採用している引戸枠はアルミニウムや樹脂などの材質で作られています。表面についたゴミ・ホコリは腐食や作動不良の原因になりますので、定期的に掃除してください。

お願い

- 掃除の際は必ずリニアユニットの電源スイッチを切ってください。
- お手入れには乾いた柔らかい布を使用し、軽く拭いてください。汚れが落ちにくいときは、水で薄めた中性洗剤を柔らかい布にひたし、よくしぼってから拭いてください。
- シンナー・ベンジンなどの薬品は使用しないでください。機器の表面を傷めたり変色の原因となります。
- 電気錠機器・センサー・点検フタ内のリニアユニットには、直接水をかけないでください。故障の原因となります。

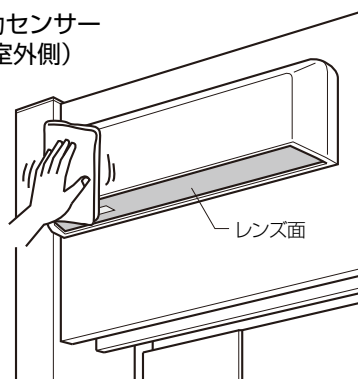


- 下枠内のゴミ・ホコリ・小石などを取除いてください。誤作動や故障の原因となります。



- センサーは定期的に柔らかい布でから拭きしてください。検知面（レンズ面）が汚れていると誤作動の原因になります。

●上枠補助センサー （室内・室外側）



●室内枠部補助センサー



こまったときには

「リニアスライドシステム」や「各エントリーシステム」による、電動での開閉操作・施錠操作が正常に作動しなくなった時は、次の手順に従ってお調べいただき、対処をしても作動しない場合はP.1に記載されている連絡先までご連絡ください。

■電気錠も開かず、引戸も自動で開かないとき……

ここをお調べください	考えられる原因	対処のしかた	参照頁
停電していませんか？	—	停電が終わるまでお待ちください。	P.26
電気錠の電源スイッチが切れていませんか？	—	電気錠の電源スイッチを入れてください。 ※詳しくは、玄関戸用電気錠システムの取扱い説明書をご覧ください。	※
電気錠のブレーカが切れていませんか？	—	電気錠のブレーカを入れてください。	—
給電ケーブルと縦枠配線や框内配線との接続コネクタが外れていませんか？	コネクタが外れていると、通電されずに電動での施錠操作・開閉操作ができません。	コネクタを正しく差込んでください。	—
専用リモコンで解錠操作ができますか？	①電池が消耗してしまっているおそれがあります。その場合、専用リモコン先端の確認ランプが5回点滅します。	新しい電池と交換してください。	—
	②専用リモコンが登録されていないおそれがあります。	お使いになる専用リモコンすべてを再登録してください。	—
CAZASキーで解錠操作ができますか？	CAZASキーが登録されていないおそれがあります。	お使いになるカードキー及びタグキーすべてを再登録してください。	—
(電気錠操作盤の電源ランプが点灯していることを確認してから) 電気錠の操作盤で解錠操作ができますか？	壁の中の配線が断線しているおそれがあります。	P.1の連絡先までご連絡ください。	P.1

■電気錠は開くのに、引戸が自動で開かないとき……

ここをお調べください	考えられる原因	対処のしかた	参照頁
リニアユニットの電源スイッチが切れてませんか？	—	リニアユニットの電源スイッチを入れてください。	P.15
リニアユニットのブレーカが切れてませんか？	—	リニアユニットのブレーカを入れてください。	—
下枠レールの上に、障害物がありますか？	障害物がはさまって、開かないことがあります。	障害物を取除いてください。	P.4・29

■引戸が閉まらない、閉まってこない…………

ここをお調べください	考えられる原因	対処のしかた	参照頁
リニアユニットの電源が切られていますか？	電源が切られると、その状態で停止してしまいます。	リニアユニットの電源スイッチを入れてください。	P.15
リニアユニットのブレーカが切れていますか？	ブレーカが切られると、その状態で停止してしまいます。	リニアユニットのブレーカを入れてください。	—
上枠補助センサー（室内・室外側）や室内枠部センサーの検知エリアに、人や動くものがありますか？	センサーが検知していると、障子は閉まってきません。	センサーの検知エリア内に、人や動くものがないようにしてください。	P.11・12 P.26～28
上枠補助センサー（室内・室外側）や室内枠部センサーの検知面が汚れていたり、ゴミが付いていたりしていませんか？	センサーが検知していると、障子は閉まってきません。	センサーの検知面の汚れやゴミを取除いてください。	P.11・12 P.29

■引戸が閉まる途中で反転してしまう…………

ここをお調べください	考えられる原因	対処のしかた	参照頁
下枠レールの上に、障害物がないですか？	障害物がはさまって、反転することがあります。	障害物を取除いてください。	P.4・29
上枠補助センサー（室内・室外側）は、正常に作動していますか？	センサーが検知していないのに反転する場合は、センサーの誤作動のおそれがあります。	センサーの点検を行ってください。それでも直らない場合は、P.1の連絡先までご連絡ください。	P.1 P.26～28
引戸が閉まってきた時にセンサーが何かを検知していませんか？	センサーが把手を検知しているおそれがあります。	上枠補助センサーの検知エリアの角度を調整してください。調整方法は上枠補助センサーに同梱されている取扱い説明書を参照してください。	P.26～28

■引戸が途中で止まってしまった…………

ここをお調べください	考えられる原因	対処のしかた	参照頁
リニアユニットの電源が切られていませんか？	電源が切られると、その状態で停止してしまいます。	リニアユニットの電源スイッチを入れてください。	P.15
リニアユニットのブレーカが切れていませんか？	ブレーカが切られると、その状態で停止してしまいます。	リニアユニットのブレーカを入れてください。	—
強風が吹いていませんか？	強風の時など引戸が途中で止まってしまうことがあります。	手動で操作してください。	P.4
連続開閉動作をしていませんか？	連続で開閉させるとリニアユニットの故障を防止する為に過熱保護機能が働きます。	しばらくたってから開閉するか、手動で操作してください。	P.6
下枠レールの上に障害物はありませんか？	同じ個所で障害物に当たると、1回目は反転しますが2回目は完全開放停止機能が働きその場で停止します。	下枠レールの上の障害物を取除いてください。	P.4・29

■引戸が閉まりきらない、閉まっているが、施錠しない…………

ここをお調べください	考えられる原因	対処のしかた	参照頁
電気錠用のブレーカが切れてませんか？	—	電気錠用のブレーカを入れてください。	—
手動で解錠操作をしてませんか？	手動で解錠操作した場合、引戸が閉まっても自動で施錠しません。	手動で施錠するか、リモコンキー・電気錠の操作盤で施錠してください。	P.19・22・24
下枠レールの上に、障害物がないですか？	障害物がはさまっていると施錠できないことがあります。	障害物を取除いてください。	P.4・29

■開閉スピードが遅くなった…………

ここをお調べください	考えられる原因	対処のしかた	参照頁
強風が吹いていませんか？	強風が吹いていると、引戸が閉まるスピードが遅くなることがあります。	故障ではありませんので、風が弱まるのをお待ちください。	P.4
開閉中に電源が入りませんでしたか？	電源が切れていて、引戸が開いたまま電源を入れるとゆっくり閉まり始めます。	故障ではありませんので、それ以降の動作では正常に動きます。	P.15
開いた状態で、停電から復帰しましたか？	停電していて、引戸が開いた状態で停電から復帰するとゆっくり閉まり始めます。	故障ではありませんので、それ以降の動作では正常に動きます。	P.26
1回目のドア開閉が遅く、戸当りに強く当たりませんでしたか？	—	自己学習中ですので故障ではありません。2回目以降の動作では正常に動きます。	P.13

■障害物があっても閉まってくる……

ここをお調べください	考えられる原因	対処のしかた	参照頁
上枠補助センサー（室内・室外側）の検知エリア内に障害物がありますか？	上枠補助センサー（室内・室外側）は、一定時間静止していると、物だと判断して引戸は閉まってきます。	故障ではありませんので、それ以降の動作では正常に動きます。	P.11・12
引戸の開閉位置に物を置きっぱなしにしていませんか？	上枠補助センサー（室内・室外側）は、一定時間静止していると、物だと判断して引戸は閉まってきます。	故障ではありませんので、それ以降の動作では正常に動きます。誤作動の原因になりますので開閉位置には物を置かないでください。	P.11・12
上枠補助センサー（室内・室外側）の検知面が汚れていたりゴミが付いていたりしていませんか？	センサーのレンズ面が汚れていると、センサーの検知機能が鈍くなってしまい、正確に検知しなくなるおそれがあります。	センサーの検知面の汚れやゴミを取除いてください。	P.11・12
上枠補助センサー（室内・室外側）は正常に作動してますか？	センサーの検知エリア内にいるのに反転しない場合は、センサーの故障のおそれがあります。	センサーの点検を行ってください。それでも直らない場合はP.1の連絡先までご連絡ください。	P.1 P.26～28

■電源スイッチがONになっているのに電源／チェックランプが点灯しない……

ここをお調べください	考えられる原因	対処のしかた	参照頁
停電ではないですか？	—	引戸は手動で開閉可能です。自動開閉は停電復旧までお待ちください。	P.26
リニアユニットへの電源ブレーカが切れていませんか？	—	ブレーカをONにしてください。 上記の処置でも直らない場合は、お取扱いの工務店・販売店・又は当社お客さま相談センターにご連絡ください。	※
コントローラーのLEDランプが点滅したままになっていませんか？	モーター内部が故障しているおそれがあります。	お取扱いの工務店・販売店又は当社お客さま相談センターにご連絡ください。	※

■動作音が出る……

ここをお調べください	考えられる原因	対処のしかた	参照頁
吊車のところからゴロゴロ音がしませんか？	吊車にゴミなどが付着しています。	点検フタを開けて吊車の付近を清掃してください。それでも直らない場合は、工務店に連絡して清掃を依頼してください。	※
ガチャガチャ音（引戸が開こうとしているとき、無理矢理閉めようとすると発生する場合があります。）	無理矢理反対の方向に障子を動かそうとしている。	動作と反対の方向に動かそうとしないでください。	※

仕様

駆動方式	磁石可動型ブラシレスリニアDCモーターによるダイレクト駆動
電 源	AC100V（50／60Hz共用）
消費電力	作動時：0.74Wh/回、待機時2.8W
使用温度環境	－10～40℃（ただし結露なきこと）
開き速度	20cm／秒～50cm／秒（出荷時は40cm／秒）
閉じ速度	20cm／秒～50cm／秒（出荷時は30cm／秒）
開放時間調整	0秒～9秒（出荷時は2秒）
開閉扉重量	26～60kg
作動電圧範囲	AC90～110V
補助センサー	ビームセンサー：近赤外線回帰反射方式 上枠補助センサー：近赤外線反射方式

アフターメンテナンスについて

修理を依頼される前に

点検および修理を依頼される前に、取扱い説明書の「■こまったときには」をご確認ください。

保証について

保証期間中は、保証の規程にしたがって修理をさせていただきます。

保証期間中でも有料になる場合がありますので「■商品保証について」の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。修理用部品の保有期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

修理を依頼されるときは

点検および修理を依頼される前に、各商品の『取扱い説明書』をもう一度ご確認ください。それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、商品をお求めの施工店、工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターにご連絡ください。その際、下記のことをご連絡ください。

- ①ご住所・お名前・電話番号
- ②商品名・品番
- ③ご購入日又はご入居日
- ※分譲住宅（建売）、分譲マンションは建設業者から売主への引渡し日となります。
- ④故障又は異常の内容
- ⑤訪問ご希望日
- ⑥LIXIL修理受付センターにご連絡の際は、商品のご購入者様名

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

点検および修理の依頼先

- ・お求めの取扱い店
- ・製品に表示している連絡先
- ・LIXIL修理受付センター ☎ 0120-413-433

点検および修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、点検および故障箇所の修理および部品交換・調整などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品代です。

出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品（機能を維持するために必要な部品・代替品含む）の最低保有期間は、製造終了後10年です。

※機器類など専用の取扱い説明書があるものは除きます。添付の取扱い説明書をご確認ください。

キッチン、洗面化粧台、室内建具などの扉・引出しなどの面材については、販売終了後2年としております。2年経過後は、新シリーズの面材を供給させていただきます。ただし2年に満たない場合でも、面材の供給が難しい場合は、新シリーズの類似面材を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

交換用部品について

お客様ご自身でお取替えいただける部品については、ホームページよりご注文いただけます。

リクシルパーツショップ <http://partsshop.lixil.co.jp/shop/>

掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター ☎ 0120-126-001にご連絡ください。

2014年9月

商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにご相談ください。

■ 対象商品 サッシ・ドア商品

■ 保証期間 施工者よりの引き渡し日（注1・注2）から2年間（電装部品については1年間）

注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

注2）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

※ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に取付けられた商品（同法第94条第1項に定める「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令第5条第2項に該当する部分に限る）からの雨水浸入については10年間とします。

■ 保証内容 取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがあります。これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■ 免責事項 保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- ①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
（例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など）
- ②お客様の指図による、正規仕様でない特別な仕様にて製作した部分に起因する不具合
（例えば、サッシ・ドアの防犯性能、使い勝手、操作性の低下など）
- ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
- ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ⑤商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など）や経年劣化（樹脂部品の変質、変色など）又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合
- ⑥商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合
（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。ガラスの熱割れ。強化ガラスの自然破損。異常な高温・低温・多湿による不具合など）
- ⑦商品又は部品の材料特性に伴う現象
（例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、樹液のにじみ出しなど）
- ⑧天災その他の不可抗力
（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など）による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑨施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
- ⑩犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
- ⑪引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
（例えば、クレセント・錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが原因で発生した傷・破損などの不具合）
- ⑫お客様自身の組立て、取付け、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合
- ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

＊保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

＊本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

2013年4月

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXILオフィシャルサイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎0120-126-001 FAX.03-3638-8447

- 店舗関連商品に関する商品相談は…TEL.03-3638-8152 月～金 9:00～17:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)
- 旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-413-433 FAX.☎0120-413-436

<http://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

- 商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

取説番号	MAK-13F	事業所コード	ZZB2	2016.04.01 発行
------	----------------	--------	-------------	---------------

